

令和7年度

学 力 向 上 プ ラ ン

【後期】

上尾市立平方東小学校

上尾市立平方東小学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標

- よく考え進んで学ぶ子＜知＞
- 明るくなかよく助け合う子＜徳＞
- たくましくがんばりとおす子＜体＞

学校課題研究主題

「自分の思いを生き生きと表現できる多様な児童の育成～ICTを活用した表現の工夫と、安心して発言できる教育環境づくりを通して～」

学力・学習状況調査の結果

R7 全国学力・学習状況調査	R7 埼玉県学力・学習状況調査	R6 上尾市立小・中学校学力調査
・国語、算数、理科ともに平均正答率は全国平均と同等である。 ・国語は、複数の情報を組み合わせたり、整理したりして説明する問題を苦手としている。 ・算数は、条件に合わせて適切なグラフや項目を選んだり、数直線上の大きさを分数で表す問題、増減を割合で表す問題を苦手としている。 ・理科は、金属や電気に関する問題を苦手としている。	・学力レベルの平均は、4、6年が、国語も算数も県平均と同等か上回っているが、5年は、下回っている。 ・国語、算数ともに、学力を伸ばした児童の割合は、埼玉県の平均を下回っている。 ・非認知能力の作業方略の数値が埼玉県の平均と比較して低い。認知的方略や努力調整方略は昨年度より数値が上がっている。	・国語は、書くことについての正答率が低い。また、主体的に学習に取り組む態度の観点で問われる問題を苦手とする学年がある。 ・算数は、変化と関係において、得意・不得意の二極化に分かれ、知識・技能を問う短答問題や記述問題を苦手とする学年がある。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①基礎的・基本的な知識を確実に身に付ける力。 ②既習の知識をもとにして、新たな知識を習得する力。	③話の内容を的確に読み取る力。 ④情報を取捨選択したり、比べたりする力。 ⑤理由や根拠を付けて自分の考えを書いたり、発表したりする力。	⑥学習に粘り強く取り組み、自分の考えを出そうとする力。 ⑦学習した内容を実生活に結び付けて、考えようとする力。 ⑧学習の見通しを立てたり、振り返ったりする力。

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
・国語では、言葉の特徴や使い方を正しく理解できるように、授業の始めや終わりに、漢字や言葉の意味を、辞書等を使って確認させる。また、原因と結果など、情報と情報との関係について理解するための時間を設定する。 ・算数では、図形について正しく理解できるように、ICT端末で視覚的に理解させる。	・国語では、話の内容を理解させるために、話を読んで要約をする活動を多く取り入れる。そして、自分の考えを、理由を付けて書いたり、発表したりする時間を設定する。 ・算数では、変化と関係についてより理解を深められるように、自分の言葉でノートに書かせたり、言葉で発表させたりする時間を取る。	・国語では、言葉の特徴や使い方を学ぶ態度を育てるために、分らない言葉を辞書で調べる機会を設定する。 ・算数では、振り返りにおいて、学習したことやそれを日常生活に生かすことができるように、振り返りを書かせる。

本校の特色ある取組

- ICT端末の活用した個別最適な学びの推進
- 少人数指導の充実
- 読書活動の充実
- 言語環境の整備
- 外国語・外国語活動・英語活動の授業改善

家庭教育との連携

- 家庭学習、家庭読書の習慣化「がんばろう家庭学習」
- デジタル教材、ICT端末の活用「e-board」「eライブラリ」活用推進

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組（低学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①基礎的・基本的な知識を確実に身に付ける力。 ②既習の知識をもとにして、新たな知識を習得する力。	③話の内容を的確に読み取る力。 ④情報を取捨選択したり、比べたりする力。 ⑤理由や根拠を付けて自分の考えを書いたり、発表したりする力。	⑥学習に粘り強く取り組み、自分の考えを出そうとする力。 ⑦学習した内容を実生活に結び付けて、考えようとする力。 ⑧学習の見通しを立てたり、振り返ったりする力。



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①、③	①プリントを用いて、長音、拗音等正しい使い方を身に付ける取組。 ③短い文を読んだり、思ったことを話したり、聞いたり、書いたりする取組。	
算数	①、②、⑥	①繰り上がりのあるたし算、繰り下がりのあるひき算の練習を取り入れる取組。 ②既習事項を生かして、新しい学習を理解できるよう学習展開を工夫する取組。 ⑥図形の問題にて、全員が自分の考えをもつように工夫する取組。	
生活	④、⑧	④自分と地域、社会や自然との関わりを深めることを通して情報を取り入れる取組。 ⑧体験活動の中で、活動に見通しをもったり、振り返りをしたりする取組。	
音楽	①	①歌や音楽ゲームを取り入れて歌ったりリズム打ちをしたりして学習内容を身に付ける取組。	
図画工作	⑤	⑤自分の作品や身近な作品を楽しんで見る中で、感じたことを話したり、色や形、表し方のおもしろさを話し合ったりする取組。	
体育	⑤	⑤各運動遊びについての自己の動きの楽しさを見つけ、他者に伝える取組。	
英語活動	⑦	⑦実生活にも生かそうとする態度を養うために、身の回りの物事（色や文房具、あいさつなど）の発音を聞き分ける取組。	
特別の教科 道徳	⑧	⑧自分のやるべきことをやり遂げさせるために、見通しを立てたり、学校生活を振り返ったりする取組。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組（中学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①基礎的・基本的な知識を確実に身に付ける力。 ②既習の知識をもとにして、新たな知識を習得する力。	③話の内容を的確に読み取る力。 ④情報を取捨選択したり、比べたりする力。 ⑤理由や根拠を付けて自分の考えを書いたり、発表したりする力。	⑥学習に粘り強く取り組み、自分の考えを出そうとする力。 ⑦学習した内容を実生活に結び付けて、考えようとする力。 ⑧学習の見通しを立てたり、振り返ったりする力。



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	③	③音読をしたり、段落ごとに話の内容を要約したりして、内容を理解する取組。 ③重要な言葉だけを抜き取る取組や話の中心に気を付けて聞き、メモをする取組。	
社会	④、⑤	④地図帳などの資料から読み取ったことを比べたり、取捨選択したりする取組。 ⑤調べたことをまとめた新聞を主体的に発表する取組。	
算数	①、⑥	①繰り返しドリルやプリントを活用して、わり算の計算問題を解く取組。 ⑥図形の問題にて、既習事項から想起させ、自分の考えを粘り強く考える取組。	
理科	②、⑤	②既習をもとに、新たな実験の予想を立てさせてから実験する取組。 ⑤観察カードに、観察結果に加え、自分の考えも記入する取組。	
音楽	①	①器楽で取り組む曲では、階名唱を用いて楽曲の旋律やリズム・パターンを把握できるようにする取組。	
図画工作	⑧	⑧活動の前に作品制作の見通しをもたせる取組や、活動の合間に振り返りをさせることで、次に表したいことを整理する取組。	
体育	⑤	⑤各種の運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える取組。	
外国語活動	①	①簡単な語句や基本的な表現を身に付けさせ、ペアでの会話の後いろいろな人とコミュニケーションをとる取組。	
特別の教科 道徳	⑦	⑦自分を支え励ましてくれる人々に感謝の気持ちを持ち、みんなで協力し合って活動する取組。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組（高学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①基礎的・基本的な知識を確実に身に付ける力。 ②既習の知識をもとにして、新たな知識を習得する力。	③話の内容を的確に読み取る力。 ④情報を取捨選択したり、比べたりする力。 ⑤理由や根拠を付けて自分の考えを書いたり、発表したりする力。	⑥学習に粘り強く取り組み、自分の考えを出そうとする力。 ⑦学習した内容を実生活に結び付けて、考えようとする力。 ⑧学習の見通しを立てたり、振り返ったりする力。



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	③、⑤	③文のまとまりを意識して、筆者の言いたいことを段落ごとにまとめ、文を要約する取組。また、それに対する自分の考えを書かせる取組。 ⑤読書をすすめ、感想や紹介文などを書く取組。	
社会	④	④資料集や地図帳を積極的に活用し、複数の資料から読み取る取組。	
算数	①、⑥	①ドリルやプリントを繰り返し活用し、小数の加減乗除の確実な習熟（位取りに注意する）を図る取組。 ⑥図形の問題を既習事項から想起させ、最後まで諦めずに粘り強く自分の答えを表現する取組。	
理科	②、⑧	②既習の学習事項や前の実験結果をもとに、新しい仮説を立てて、実験に取り組み、新しい知識を得たり、理解を深めたりする取組。 ⑧実験の予想を児童に立てさせたり、実験の計画から見通しをさせたり、実験の結果から考察、結論を導き出させて、振り返りをする取組。	
音楽	①	①毎回の授業で、今まで学習してきた音符やリズム記号、階名を使って読む取組。	
図画工作	⑤	⑤作品を鑑賞し、自分の考えや思いを色や形からどう表現したかを伝えたり、よさや感じたことを友達と話し合ったりする取組。	
家庭	⑦	⑦調理に必要な器具や食器の安全で衛生的な取扱いと1食分の献立を自分で考え、家庭でも実践する取組。	
体育	⑤	⑤本時の振り返りのときに、自分で気付いた運動のコツを友達に伝えたり、友達の動きのよさを発表し合ったり、健康に過ごすための方法を発表したりする取組。	
外国語科	①	①A L Tが実際に用いる表現を聞いたり真似したりして、やり取りの中で使う取組。	
特別の教科 道徳	⑦	⑦最後までやり抜く粘り強さを身に付けさせるために、自分の良さや課題を客観的に分析して、改善点を探す取組。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

(2) 教育活動全体を通じた取組

本校の特色ある取組

○ICT 端末の活用	・デジタル教材「e ライブラリ」等の学習アプリの活用で個別最適な学びを推進する。 ・日常の会話に日本語を使用しない児童に対する対応として、ICT 端末を活用した学習活動を取り入れることで、多様な児童の個別の課題に対応する授業のユニバーサルデザイン化を図る。
○自学・自習能力、家庭学習の向上	・「がんばろう家庭学習」(家庭学習色ぬりカードと取組結果の集計) の取組によって、自発的な家庭学習を推進する。 ・デジタル教材「e ライブラリ」を学期中だけでなく、長期休業中にも活用し、オンラインでの自主学習を促す。
○少人数指導の充実	・4年生以上は、算数でチームティーチングや少人数指導を行い、基礎的・基本的な知識、技能の定着を図る。
○意見を発信できる子	・各学力調査の結果や実態から、学年で重点的に取り組む教科を決め(低:国語、中:理科、高:外国語)、大人数に対して発表する機会を意図的に設けて、発表する力の向上を図る。 ・朝の会や帰りの会でスピーチをする機会を設け、クラス全体に発表する機会を設ける。
○英語活動・外国語活動・外国語科の充実	・授業の展開を工夫し、平方東小のオリジナルの学習の流れを作成したり、ALT を活用した業間の英語活動を充実させたりして、知識・技能をより深めさせる。

家庭教育との連携

○読書活動の充実	・学年の実態に応じて、土日の宿題に読書をするなどして、家庭での読書を推奨する。
○学習支援ボランティア(学校応援団)の充実	・家庭科のミシン学習や、書写(毛筆、書きぞめ)の時間の学習支援を行う。
○教育活動の公開	・教育活動の保護者への公開を行う。
○幼保小連携、小中一貫教育の推進	・学校行事への参加等、教職員や児童生徒の相互交流を充実させる。 ・幼保小連絡会や小中学校連絡会、太平中学校区一貫教育合同研修会を実施する。 ・小学校・中学校間で授業を参観する機会を設ける。